



43→44 回への樺渡しにより開幕

2021年度 首都圏同窓会 定期総会・懇親会



2021年の首都圏同窓会定期総会・懇親会は、数多くのチャレンジを経て実現しました。
 我々 44 回生が当番幹事として最初に直面したのは、コロナ禍における同窓会の在り方や開催意義について考えることでした。

まず、同窓会という「機会」、言い換えれば「時間や想いを共有する」という事に意義を見出し、どのような形であっても同窓会を開催するという目標を定めました。そのうえで従来型の宴席形式から完全オンライン形式まで、複数のプランのメリットやデメリットを比較検討しました。

最終的には、同窓会初となる会場とオンラインのハイブリッド形式での開催となり、当日は海外在住の方を含め、500名を超える同窓生の皆様と「時間や想いを共有する」事が出来ました。改めてご参加者頂いた皆様とご協力頂いた皆様に、御礼申し上げます。

振り返ると、我々の当番幹事活動は、筑高生の伝統や絆などを「まもり」、困難な状況下であっても諦めずに同窓会開催の道を「ひらき」、今後の同窓会に新たな選択肢を「つくる」、まさに校歌に謳われる「守護」「開拓」「創造」の共有と実現の期間だったように感じています。

卒業後 30 年を経てもなお筑高魂を忘れず、様々な困難と共に乗り越えた同級生には感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。今後は、今回参加が叶わなかった 44 回生も含め、絆をさらに掘り深めていければと思います。

最後になりますが、2022 年度首都圏同窓会の盛会を心からお祈りするとともに、当番幹事 45 回生の皆様の絆がより一層強くなることを願っております。

実行委員長
林 慎一郎
 (高 44 回生)



首都圏同窓会代表 **渡辺 伸也** (高 24 回生)

筑紫丘高等学校首都圏同窓会の皆様、日本を含む世界が新型コロナウイルス感染症というパンデミックに翻弄され続ける中で令和 4 年となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

私共首都圏同窓会は 2 年続きのコロナ禍の中、従来の活動を中止あるいはオンラインによる対応を余儀なくされました。そのような中、昨年11月の総会・懇親会は、貸会議室でのリアル参加 + オンラインでの参加というハイブリッド形式で開催する事が出来ました。当番幹事学年の44回生にとっては先例のない挑戦でありましたが、何としても2年連続の中止という事態は避けたいという強い熱意によって開催にこぎつけました。会場では飲食の提供なし、かつ会話を控えていただくという制約下で参加した皆さんにいかに楽しんでいただくかが最大の課題でした。結果として、例えば懇親会で流された動画は、母校や故郷福岡の知られざる過去と現在のトリビアを、独自の視点で丹念に取材し映像化したもので、参加した皆さんは画面に見入っていました。当番幹事の皆さんの一年間にわたる企画力と想像力そしてチームワークを結集した素晴らしい懇親会となりました。また、オンライン参加者は、首都圏の同窓生はもとより全国各地そして海外からの参加者もあり、会場参加者とオンライン参加者は合計約 500 名と過去の総会に引けを取らないものとなりました。改めて当番幹事学年 44 回生の皆さんに深く感謝申し上げます。又、福岡

よりご参加頂きました原田同窓会会長、深瀬校長先生を始めとする多数の来賓および参加者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

新型コロナ感染拡大による社会常識や活動への影響は想像を超えたものであり、良きにしろ悪きにしろ我々の思考と行動様式に大きな変化をもたらしました。我々同窓会もこのような流れに逆らうことなく、従来のリアルな同窓会活動とオンラインによる交流のベストミックスを目指して行きたいと思います。これからも同窓生間の交流のツールは益々多様化して行くものと思いますが、首都圏同窓会の理念は変わる事無く、今後とも将来を担う次世代、次々世代の後輩達を積極的に応援していくと同時に、先輩・後輩間の親密な交流を促進していきます。首都圏同窓会は首都圏在住の筑紫丘高校卒業生の交流の場です。ガオ力卒業生ならではの話題で盛り上がり、先輩・後輩として本音で就職や仕事の相談をしたり、仕事や趣味での思わぬ出会いがあったり、友達の友達という輪が広がったりとお金では買えない宝物が沢山埋まっている場があります。これまで首都圏同窓会と関わりが少なかった皆様、どうぞお気軽に同級生や学年幹事の方を通じて首都圏同窓会のドアをたたいてください。首都圏同窓会はいつでも皆様のご参加をお待ちしております。

～首都圏在住の皆様へ寄付のお願い～

例年お支払いをお願いしております、年会費(4月～翌3月の1会計年度分)については、2021年度分(2021年4月～翌3月の1会計年度分)については、同窓会活動が縮小していることもあり、いただかないことといたしました。しかしながら、同窓会活動の本格的再開に向けて、寄付をいただける方は、任意の金額でかまいませんので、お願いできれば幸いです。

口座名義：福岡県立筑紫丘高校首都圏同窓会

金融機関：ゆうちょ銀行
 記号・番号：00110-2-420118

他 銀行からの「ゆうちょ銀行」への振込の場合

店名：〇一九(ゼロイチキュー)店
 口座：当座預金 0420118

※ 振込の際は卒業回生または卒業年を入力してください。ご不明点がございましたら、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

問い合わせメール：info.gaokatokyo@gmail.com

※ 写真の一部は、撮影時のみマスクを外していただいています。



首都圏同窓会 2020 年度・2021 年度活動報告

首都圏同窓会では、卒業生の皆さんが元気に活躍できるよう支援活動を行っております。「ガオカの卒業生で良かった!!」と実感できる活動を 2022 年も引き続き行って参りたいと思っておりますので、皆様ぜひ積極的に活動に参加いただき同窓の絆を繋げていきましょう。

[2020 年度]

《就活を応援する会》

2020 年度は唯一、就職活動を意識した学生を支援する会を 12 月 19 日に開催。

初のオンライン開催で、学生は全国の大学 1 年生～博士課程 39 名、社会人は全国だけでなく海外も含めて 48 名の過去最多 87 名の参加。人事の視点および採用の現場からのインタラクティブな講演、本会過去参加者や内定獲得した OG による就活経験談、個別相談等、オンラインでもガオカならではの繋がりを活かした熱量高い会となりました。

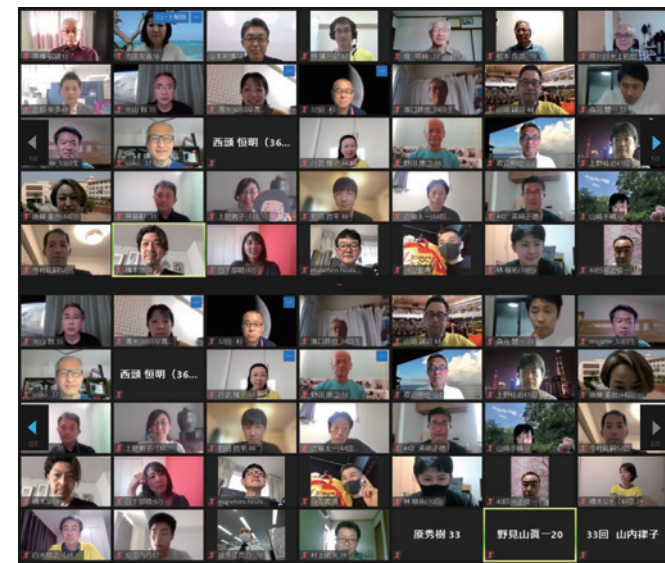


[2021 年度]

《学年幹事会》

2021 年 6 月 26 日 2 年ぶりに学年幹事会を開催。高 1 2 回生から 70 回生まで、49 名の参加で、決算の報告、秋の首都圏総会の概要の説明、各学年の活動報告等行いました。

恒例の懇親会は開催できませんでしたが、中身の濃い情報交換の場となりました。

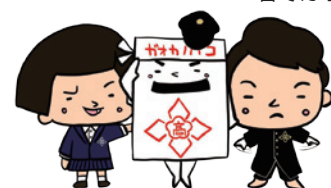


《就活を応援する会》

オンラインにて 2021 年 12 月 11 日に開催。全国だけでなく海外からも参加の学生 11 名を対象に、人事の視点からの経験談に基づくアドバイスや就活生個々人の具体的な質問・悩みに寄り添う個別相談などを行い、会後の学生アンケートでも非常に満足度の高い会となりました。



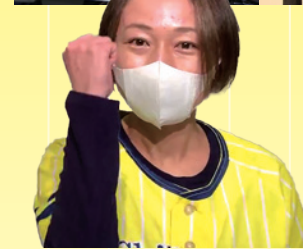
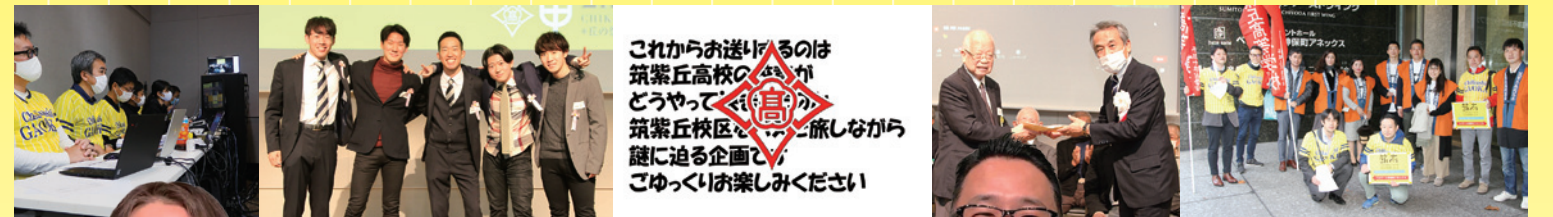
※皆でガオカの“G”ポーズをしています



皆様のご参加を
お待ちしております!

同窓会初のハイブリッド開催！参加者は国内外から 500 名超に!!

2021 年 11 月 27 日(土)に 2 年振りとなる定期総会・懇親会が開催された。感染対策を考慮して会場参加は約 150 名に限定、オンライン参加は人数制限なしのハイブリッド形式とした。会場で飲食がなくても、単独オンライン参加でも、十分楽しめるものにしたという思いで企画・進行・配信などの準備を入念に進めた。当日は、全国各地、更に海外からの 20 余名を含め 587 名の皆様と「ガオカ愛」を感じ、共有できる機会となった。定番の賀寿のお祝いや新企画の映像コンテンツ等を盛り込み、新しい同窓会のカタチ、可能性を提案しつつ 45 回生へと襷をつないだ。たくさんの、参加してよかった、ありがとうの言葉に、改めて、多くの同級生と共に当番幹事活動に関われたことを心から感謝している。



副実行委員長 後藤 亜世
(高 44 回生)



副実行委員長 山崎 誠司
(高 44 回生)

会場・ネット越しともに“同じ空間で”ガオカ愛を感じて・楽しんでいただきたいという想いの元、様々な企画を練りました。その中でも、昨今の状況下だからこそこのチャレンジが 2 つあります。

1 つ目は、人生の節目となるお祝いの重要性を再認識。賀寿・新卒生のご紹介を 2020 年の対象者と合わせて 2 年分実施させていただきました。また、例年行っていなかった新成人についても、2021 年に成人式に参加できなかった方がいらっしやることを想定してご紹介。対象学年幹事の方々にはお力添えいただき、参加者 500 名の心に残るセレモニーとなりました。

2 つ目は、ガオカ OBOG のビデオショートメッセージ。コロナ禍でも頑張る同窓生へのエールや近況報告などを皆様から募集。国内・海外からバラエティに富んだメッセージをいただき、それぞれのガオカ愛アピールあり、笑いあり、そして何より鼓舞されたことと思います。

この度は、新しいカタチの定期総会・懇親会を皆様と創り上げることができましたこと、心より感謝申し上げます。

ガオカを卒業してちょうど 30 年、まさか同級生同士で、しかも福岡ではなく東京で、このようなイベントと一緒に作り上げることになるとは夢にも思っていませんでした。

初めてのハイブリッド開催、44 回生にオンラインイベントのプロは不在、動画編集もしたことがない、司会は素人、コロナ対応も経験なし、リハーサルも当日午前中しかできない、総会当日まで全員が集まったことがない、潤沢な予算もない、と何もかもがないない尽くしてでしたが、日を重ね、徐々に形が出来上がっていきなかで、「このメンバーなら何とかなる！」と頼もしく思いました。

当番学年としての役目は 45 回生に引き継いだところで終わりますが、あらためて、同級生の良さ、ガオカの良さを実感することができた貴重な機会となりました。総会・懇親会終了後の 44 回生のやりきったという顔、ご参加いただいた皆様の笑顔、すべてが忘れられない思い出となりました。おかげで今後しばらくは、みんなが集まった時の酒のつまみに事欠かなそうです。

44 回生の皆さん、困難な状況にもかかわらず、筑高生が集まる場を提供していただき、本当にありがとうございます。また、残念ながら総会が中止となってしまった 43 回生の皆さんも、本当にお疲れ様でした。今年の総会・懇親会は初のハイブリッド開催でしたが、緊急時のつなぎではない、完成度の高い運用事例を示していただきました。また、運用の完成度が高いだけでなく、43 回生から 44 回生への襷渡して始まるなど、コンテンツの全てが暖かく、会場が一体になって楽しめるものを作りあげていただきました。やっぱり、ガオカの先輩すごい！と痛感しております。45 回生は 44 回生の先輩が示していただいた『新しい総会の形 = ハイブリッド開催』に、世界中の筑高生が集まる場となる可能性を感じており、2022 年も同じ形にチャレンジいたします。後輩が『あんな総会なら自分たちもやってみたい』と思えるような、楽しい会にできるよう尽力いたします！

今年の首都圏同窓会定期総会・懇親会は 11 月に会場& 配信のハイブリッド開催です！

2022 年度 実行委員長
樋口 和貴
(高 45 回生)

